

在宅医療多職種チーム力向上研修会 Part3 のお知らせ

「在宅医療における本人・家族とのコミュニケーション」

～人生最終段階の心理的支援とその意義～

日本医師会生涯教育講座 2 単位

【CC】 5 心理社会的アプローチ (1 単位) ・ 13 医療と介護及び福祉の連携 (1 単位)

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、在宅療養を看取りまでの一連のプロセスと捉えた場合、患者と家族は病状や療養生活の変化に伴い、様々な不安や葛藤を抱くことが少なくありません。このため、ケア提供者が各職種の専門性を核としながらも、患者と家族のところに寄り添い心理面でのサポートをすることは、ケアの質の向上に繋がるといえます。

そこで、心理学の立場から、エンド・オブ・ライフケアに関する研究に取り組まれている研究者を講師にお招きします。「訪問看護師」と「訪問介護員」が関わった在宅がん患者の事例を基に、在宅医療に携わる職種のケア実践を通じてなされる心理的支援の在り方を検討する研修会を下記により開催しますのでご案内申し上げます。

一般社団法人菊池郡市医師会 会 長 柴田 堅一郎
在宅医療ネットワーク委員長 岩根 英治

会員各位

記

日 時 令和 2 年 1 月 24 日 (金) 午後 7 時～9 時

場 所 光の森町民センター (予定)

菊陽町光の森 2 丁目 1 番地 1 TEL096-237-6555

主 催 一般社団法人 菊池郡市医師会

定 員 90 名

参 集 在宅医療に携わる多職種等

内 容

【事前配布テキストに基づく講義及びワークショップ】

講 義 「在宅医療における本人・家族とのコミュニケーション」

～人生最終段階の心理的支援とその意義～

講 師 尚綱大学短期大学部 総合生活学科
准教授 (人間科学博士) 中里 和弘 先生